

西園寺講師の 「読むガイダンス」



池袋本校担当
Zoom配信担当
西園寺華 講師

社労士試験合格への最短経路を伝授

社労士試験は難関とされていますが、効率的かつ効果的に学習すれば短期間で合格も可能

です。私自身も法律の知識ゼロからLECで学び、1年で一発合格しました。ここでは、私の体験を基に「**社労士試験合格のための最短経路学習法**」を伝授します。

「社労士試験合格のための最短経路学習法」とは？

社労士試験の難易度が高い理由の一つは試験範囲の広さです。労働基準法や雇用保険法、年金法など多岐にわたる10科目の知識が求められます。1年でこれら全てを習得するには、計画的な学習が不可欠です。

学習の時期による内容の違い

社労士試験合格を目指す学習内容は時期によって異なります。ここでは、「**SEASON1：基礎編・合格講座本論編（受験年の4月頃まで）**」と「**SEASON2：直前対策編（受験年の5月以降）**」に分けて学習方法を紹介します。

SEASON1：基礎編・合格講座本論編

この期間は、**知識の定着を図る**ことが主な目的です。具体的には、**インプット学習**（講義受講、テキスト読解）で**必要な知識を蓄え**、**アウトプット学習**（問題解答、学習内容の説明）で**覚えた知識を活用**します。

例えば、「講義を受けたらすぐに過去問に取り組む。過去問を解いたらテキストに戻って条文を確認する」という**反復学習が効果的**です。一問一答過去問BOOKを活用し、インプット講義を受けたらすぐに対応する過去問に取り組むことが推奨されます。実際の試験でどのように出題されるかを知ることで、知識の吸収が速まります。

過去問を1回や2回解くだけでは不十分です。**繰り返し解く**ことで理解度が深まります。毎日少しずつ学習を続けることで、膨大な知識も自分のものとなります。仕事が忙しくても、平日であれば1日2時間程度の学習時間を確保し、コツコツと続けることが合格への鍵です。

SEASON2：直前対策編

この期間は、**弱点克服と応用力強化を図る**ことが主な目的です。社労士試験には各科目ごとに基準点があり、総合点だけでなく各科目の基準点をクリアする必要があります。特定の科目に弱点があると合格が難しいため、**全科目で均等に得点を取ることが重要**です。

この期間中に実施される全日本社労士公開模試（全3回）は、**弱点を発見する絶好の機会**です。模試を受けることで自分の弱点を把握し、どの分野で点数が取れないか、どの問題に時間がかかるかを明確にします。模試の結果を元に、弱点を重点的に復習し、特に間違えた問題や苦手な分野については、**テキストに戻って条文を確認し、関連する過去問を解き直す**ことで理解を深めます。**弱点をそのままにせず**、本番での失点を防ぐことで、合格の可能性を高めましょう。

西園寺講師の講義の特徴

過去問からのアプローチ

社労士試験合格の鍵は過去問のマスターにあります。**過去問は最高の問題集**であり、実際に過去に出題された問題を例に、どのようなひっかけ問題が出題されるかを詳しく解説します。これにより、受講生は試験本番で注意すべきポイントを理解し、ミスを減らすことができます。

初学者でもわかりやすい解説

法律の知識がゼロから始める方でも理解しやすいように、基礎から丁寧に解説します。複雑な法律用語や概念をわかりやすく説明し、**具体的な事例や図解を用いて理解を深める**サポートを行います。

計画的な学習方法の提案

限られた時間で効率よく学習を進めるために、計画的な学習方法を提案します。毎日の**学習時間の確保**、**復習のタイミング**、**問題演習の方法**を具体的に指導します。また、**過去問の活用方法**や**重要ポイントの押さえ方**についてもアドバイスします。

メリハリのある講義

学習を続ける中で、集中力を保つことは重要です。私の講義では、メリハリのある授業進行を心がけています。**重要なポイントは繰り返し強調**し、**記憶に残りやすい**よう工夫しています。

講師からのメッセージ

社労士のやりがいと魅力

社労士は人から感謝される仕事です。企業の労務管理や人事制度の構築を支援することで、働く人々の生活を支える役割を担っています。相談業務を通じて、企業や従業員の悩みを解決し、働きやすい環境を作り出すことができます。このような仕事を通じて、多くの人から感謝されるのは、大きなやりがいとなります。

社労士としての多様な業務

社労士としての仕事は多岐にわたります。労働基準法や社会保険に関する専門知識を駆使して、企業の法令遵守をサポートし、トラブルを未然に防ぐことができます。また、社員の働き方改革の

一環として、柔軟な勤務制度や休暇制度の導入支援なども行います。これにより、企業全体の生産性向上や従業員の満足度向上に貢献することができます。

独立開業と働き方の自由

さらに、社労士は独立開業することも可能です。自分の事務所を構え、クライアント企業や個人と直接契約を結ぶことで、より自由度の高い働き方が実現できます。自分自身のライフスタイルに合わせた働き方を選択し、家庭との両立や地域社会への貢献も可能です。私自身も子育てをしながら資格を活かして働くことができている。社労士の資格は、育児や家庭の都合に合わせた柔軟な働き方ができる点でも大きな魅力があります。

最後に、講師として皆さんにお伝えしたいことがあります。社労士試験は難関ですが、**努力と継続**があれば必ず乗り越えられます。私の講義では、知識の習得だけでなく、受講生の皆さんが**楽しく前向きに**学べるような工夫を凝らしています。学習は一人ではなく、私たち講師や仲間と共に進めるものです。困ったことや疑問点があれば、いつでも相談してください。**社労士としての未来と一緒に切り開いていきましょう。皆さんの合格を心から応援しています。一緒に頑張りましょう!**